

2019年5月13日(月)

1. 品種：キタアカリ

十勝農協連農産課から頂いた種イモを使用する。

2. 種芋の用意

1区3畝。1畝の長さ5メートル。

1畝に15個。30cm間隔で播種する。

1区には45個の種芋が必要。2区には90個の種芋が必要。

ただし1畝の播種数は現在ある種イモの個数によって調節する。

コンテナには2区分の種イモ10kgが入っている。現在入っている種芋の数を数えて、90個に足りない場合は、大きな種芋を2個に切って、90個になるようにする。90個以上あった場合は播種の間隔を調節して全部の種イモを播種する。種イモは丁寧に扱い、芽を落とさないようにする。

3. 畝の形の調整。

畝の幅40cm。高さ約20cm。方向は南北方向にまっすぐになるように調整する。

4. 施肥

化学肥料は4月25日(木)に、有機肥料は5月9日(木)に施肥した。

5. 種芋の播種

播種前に畝と周辺の雑草を丁寧に除去する。

畝の中央部10cmの部分に、約30cm間隔で播種する。両端も約30cmずつ空ける。まず畝の上に種イモを並べて個数と間隔を確認したのち、種芋の大きさの2倍(10cm)程度の深さに種イモを埋めて、軽く土をかける。新イモは種イモよりも浅い位置にできるので、深く埋めた方がよい。

6. 培土

種芋が発芽したら、後日培土(土寄せ)を行う。